

令和7年度 大田区立千鳥学校 自己評価 報告書

令和8年2月25日

○ 本校の概要

○児童数 359名 ○学級数12学級(令和7年5月1日現在)
 ○教育目標「心やさしくしょうぶな子」「進んでやりぬく子」「よく考え工夫する子」
 ○学校経営方針「思いやりのある児童の育成とともに、体力の向上を図る。」「児童一人一人の学びを保障し、確かな学力を育てる。」「家庭地域との連携を図り、児童が自ら考え、工夫する力をはぐくむ。」「本校の特色・千鳥スタンダードの実践・なかよし班活動・学校支援地域本部(チーム千鳥協力隊)の支援を受けた教育活動の充実。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組経緯	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来し 社会を 創造的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.3	◇児童アンケート「タブレットを使って考えをまとめたり、友達と一緒に学習したりできる」「生活や学習の振り返りを通して自分の良さに気付くことができる」 ◆保護者アンケート「学校は、学力の定着と学習意欲の向上に向けて、ICT機器を効果的に活用している」の質問に、肯定的な回答をした割合85%以上	4: 全て90%以上	・今年度より本格実施した、大田区独自の教科「おおたの未来づくり」を校内研究のテーマとして、全教員で取り組んだ。「地域の創生」で、千鳥南町会のためにできることを課題にし、子どもたちは夏まつりに出店したり、イベントのポスターを作成したりし、地域行事の活性化を通して、地域や学習内容について高い関心が寄せられた。課題解決に向けて、6年生は充実感をもって取り組んでいる。 5年生はプログラミングに取り組み、企業から支援を受け、他者意識をもってゲーム作りに取り組んだ。	A	6	・子ども達の負担にならないように軽量のタブレット端末を要望したい。 ・教職員の皆さんの努力がよくわかります。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人国 材を 際育 都成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.6	◆児童アンケート「地域の行事に参加したり、より良い地域になるよう行動したりしている」 ◇保護者アンケート「学校は地域の特色を生かした教育活動を積極的に行っている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・外国語教育指導員を活用することで、ALTと綿密に計画をして、授業を行うことができた。ペーパーだけでなく、パフォーマンステストなども行い、適宜な評価も並行して行うことで、子どもたちの英語力やコミュニケーション能力の向上につながった。 ・英語カフェは、ALTが出身国の遊びを取り入れたり、活動的な内容をしたりと工夫したことで、年間を通して参加する児童が増え、異文化交流の一助にもなった。また、英語カフェは、全学年が平等に参加できるように、計画的に割り振った。低学年には地域ボランティアの協力をいただき、児童が楽しんで英語カフェに参加できるよう配慮した。 ・持続可能な社会の創り手を育むために、6年生の3学期は、特に社会科や理科では、これまでの学習を生かして、国際社会が抱える問題の解決に向けて、日本の役割を具体的に捉え、広い視野から思考・判断できるよう指導していく。	A	6	・いろいろな人が町会活動に参加できる取り組みの提案をお願いします。 ・町会活動に大変ご協力いただいた。(ポスター作成、清掃活動、町会ユニフォームデザイン等) ・千鳥南町会のためにたくさん考え、アイデアを出していただき、町会一同大変喜んでます。ありがとうございます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性力 とを能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.4	◇児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きですんで体を動かしている」「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」を守り、健全な生活をしようとしている」 ◆保護者アンケート「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座では、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。栄養士による食育授業も多く実施した。PTA主催の給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・学習発表会に近隣の保育園を招待した。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々な取組や声掛けをし、基本的な生活習慣の定着を図っていく。	A	6	・体力向上は最も重要である。 ・「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶宿題できたかな」の言葉を子ども達が言っているのをよく聞く。子ども達の中に浸透していると思う。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人国 材を 際育 都成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.5	◆児童アンケート「地域の行事に参加したり、より良い地域になるよう行動したりしている」 ◇保護者アンケート「学校は地域の特色を生かした教育活動を積極的に行っている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・外国語教育指導員を活用することで、ALTと綿密に計画をして、授業を行うことができた。ペーパーだけでなく、パフォーマンステストなども行い、適宜な評価も並行して行うことで、子どもたちの英語力やコミュニケーション能力の向上につながった。 ・英語カフェは、ALTが出身国の遊びを取り入れたり、活動的な内容をしたりと工夫したことで、年間を通して参加する児童が増え、異文化交流の一助にもなった。また、英語カフェは、全学年が平等に参加できるように、計画的に割り振った。低学年には地域ボランティアの協力をいただき、児童が楽しんで英語カフェに参加できるよう配慮した。 ・持続可能な社会の創り手を育むために、6年生の3学期は、特に社会科や理科では、これまでの学習を生かして、国際社会が抱える問題の解決に向けて、日本の役割を具体的に捉え、広い視野から思考・判断できるよう指導していく。	B	0	・いろいろな人が町会活動に参加できる取り組みの提案をお願いします。 ・町会活動に大変ご協力いただいた。(ポスター作成、清掃活動、町会ユニフォームデザイン等) ・千鳥南町会のためにたくさん考え、アイデアを出していただき、町会一同大変喜んでます。ありがとうございます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人国 材を 際育 都成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.3	◆児童アンケート「地域の行事に参加したり、より良い地域になるよう行動したりしている」 ◇保護者アンケート「学校は地域の特色を生かした教育活動を積極的に行っている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・外国語教育指導員を活用することで、ALTと綿密に計画をして、授業を行うことができた。ペーパーだけでなく、パフォーマンステストなども行い、適宜な評価も並行して行うことで、子どもたちの英語力やコミュニケーション能力の向上につながった。 ・英語カフェは、ALTが出身国の遊びを取り入れたり、活動的な内容をしたりと工夫したことで、年間を通して参加する児童が増え、異文化交流の一助にもなった。また、英語カフェは、全学年が平等に参加できるように、計画的に割り振った。低学年には地域ボランティアの協力をいただき、児童が楽しんで英語カフェに参加できるよう配慮した。 ・持続可能な社会の創り手を育むために、6年生の3学期は、特に社会科や理科では、これまでの学習を生かして、国際社会が抱える問題の解決に向けて、日本の役割を具体的に捉え、広い視野から思考・判断できるよう指導していく。	C	0	・いろいろな人が町会活動に参加できる取り組みの提案をお願いします。 ・町会活動に大変ご協力いただいた。(ポスター作成、清掃活動、町会ユニフォームデザイン等) ・千鳥南町会のためにたくさん考え、アイデアを出していただき、町会一同大変喜んでます。ありがとうございます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人国 材を 際育 都成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	④家庭・地域・関係機関との連携を通して、地域力を生かした特色ある教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.6	◆児童アンケート「地域の行事に参加したり、より良い地域になるよう行動したりしている」 ◇保護者アンケート「学校は地域の特色を生かした教育活動を積極的に行っている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・外国語教育指導員を活用することで、ALTと綿密に計画をして、授業を行うことができた。ペーパーだけでなく、パフォーマンステストなども行い、適宜な評価も並行して行うことで、子どもたちの英語力やコミュニケーション能力の向上につながった。 ・英語カフェは、ALTが出身国の遊びを取り入れたり、活動的な内容をしたりと工夫したことで、年間を通して参加する児童が増え、異文化交流の一助にもなった。また、英語カフェは、全学年が平等に参加できるように、計画的に割り振った。低学年には地域ボランティアの協力をいただき、児童が楽しんで英語カフェに参加できるよう配慮した。 ・持続可能な社会の創り手を育むために、6年生の3学期は、特に社会科や理科では、これまでの学習を生かして、国際社会が抱える問題の解決に向けて、日本の役割を具体的に捉え、広い視野から思考・判断できるよう指導していく。	D	0	・いろいろな人が町会活動に参加できる取り組みの提案をお願いします。 ・町会活動に大変ご協力いただいた。(ポスター作成、清掃活動、町会ユニフォームデザイン等) ・千鳥南町会のためにたくさん考え、アイデアを出していただき、町会一同大変喜んでます。ありがとうございます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性力 とを能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.4	◆児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きですんで体を動かしている」「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」を守り、健全な生活をしようとしている」 ◆保護者アンケート「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座では、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。栄養士による食育授業も多く実施した。PTA主催の給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・学習発表会に近隣の保育園を招待した。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々な取組や声掛けをし、基本的な生活習慣の定着を図っていく。	B	0	・体力向上は最も重要である。 ・「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶宿題できたかな」の言葉を子ども達が言っているのをよく聞く。子ども達の中に浸透していると思う。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性力 とを能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.5	◆児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きですんで体を動かしている」「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」を守り、健全な生活をしようとしている」 ◆保護者アンケート「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座では、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。栄養士による食育授業も多く実施した。PTA主催の給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・学習発表会に近隣の保育園を招待した。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々な取組や声掛けをし、基本的な生活習慣の定着を図っていく。	C	0	・体力向上は最も重要である。 ・「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶宿題できたかな」の言葉を子ども達が言っているのをよく聞く。子ども達の中に浸透していると思う。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性力 とを能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3.3	◆児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きですんで体を動かしている」「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」を守り、健全な生活をしようとしている」 ◆保護者アンケート「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座では、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。栄養士による食育授業も多く実施した。PTA主催の給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・学習発表会に近隣の保育園を招待した。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々な取組や声掛けをし、基本的な生活習慣の定着を図っていく。	D	0	・体力向上は最も重要である。 ・「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶宿題できたかな」の言葉を子ども達が言っているのをよく聞く。子ども達の中に浸透していると思う。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性力 とを能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	⑤教育活動全般を通して、規範意識の確立と基本的な生活習慣の定着を図っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	3.3	◆児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きですんで体を動かしている」「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」を守り、健全な生活をしようとしている」 ◆保護者アンケート「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座では、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。栄養士による食育授業も多く実施した。PTA主催の給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・学習発表会に近隣の保育園を招待した。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々な取組や声掛けをし、基本的な生活習慣の定着を図っていく。	D	0	・体力向上は最も重要である。 ・「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶宿題できたかな」の言葉を子ども達が言っているのをよく聞く。子ども達の中に浸透していると思う。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て80%以上				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て70%以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満				

<p>学個別校別目標・教4師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p> <p>④校内研究や日々の行員間の指導を通して、授業力の向上を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>◇児童アンケート「授業で学習したことがよくわかる」</p> <p>◆保護者アンケート「教員は、分かりやすい授業のために工夫をしている」の質問に、肯定的な回答をした割合85%</p>	<p>4: 全て90%以上</p> <p>3: 全て80%以上</p> <p>2: 全て70%以上</p> <p>1: 70%未満</p>	<p>4</p> <p>・個別最適な学びを保証するためにタブレット端末の活用をさらに充実させた。ICT支援員を一層有効的に活用したい。協働的な学びのために新しいアプリケーションソフトの活用を熱心に行い、教員間での情報交換も積極的に行われた。</p> <p>・教職員が積極的に地域の行事に参加し地域のサポート力に触れる機会が多かった。その経験を次年度以降の「おわたの未来づくり」科に生かしていきたい。</p> <p>・校内研究を通して授業力の向上を図っているが、時間の確保が課題だった。日常的に教員間の授業を見合い、教材や授業展開等のまなびを深められるよう、次年度はもう少し計画を立て、進めたい。</p> <p>・教師の業務負担を軽減するための教員支援員や効率的な事務スタッフの配置を受け、教職員の業務適正化を進め、児童と教員が向き合う時間を作ることができた。児童にとっても様々な立場の方と関わることは大変有意義なことだった。</p>	<p>A 6</p> <p>B 0</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<p>・先生たちも大変ですが、今後も子どもたちのことをよろしく願います。</p>
<p>た自個め分別の目標5をい支援いきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしいいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p> <p>④教員は、学校経営への参画意識をもち、児童一人一人に向き合いながら職務を進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>◆児童アンケート「自分や友達のことを大切にすることができる」</p> <p>◇保護者アンケート「学校は子ども一人一人を大切にしている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%</p>	<p>4: 全て90%以上</p> <p>3: 全て80%以上</p> <p>2: 全て70%以上</p> <p>1: 70%未満</p>	<p>4</p> <p>・定期的に派遣される発達障害アドバイザーから全教員が教育のユニバーサルデザインについての研修を受けることができたことは大変有意義だった。巡回心理士やSCからの助言を受けて困難のある児童の状況に合わせた教育環境の整備に努めた。</p> <p>・特別支援教室巡回指導教員と丁寧に連携を図り、児童理解に努め、指導の改善につなげた。</p> <p>・学校生活アンケートやWeb-QUアンケートを実施し、気になる児童については聞き取りを実施した。今後も児童が安心できるよう個別に対応していく。</p> <p>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、児童や保護者が相談しやすい環境を整備することができた。教員も児童や保護者からの相談に丁寧に対応できるよう連携を図った。</p>	<p>A 6</p> <p>B 0</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<p>・チーム千鳥も気持ちよく活動させていたが、大切にしてください感謝している。</p>
<p>安柔個心軟別なで目教創標育造6環的なを学つ習く空間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p> <p>③図書館の整備を徹底し、朝の時間の読み聞かせや授業等での活用を通して読書の習慣化を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>◇児童アンケート「地震や火事があったら、どんな行動をすればよいか分かる」</p> <p>◆保護者アンケート「学校は、快適で安全な学校環境づくりに努めている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%</p>	<p>4: 全て90%以上</p> <p>3: 全て80%以上</p> <p>2: 全て70%以上</p> <p>1: 70%未満</p>	<p>4</p> <p>・児童の実態や個々の状況に即した避難訓練を柔軟に計画し、実施することができた。3学期は告知なしの訓練を行い、主体的に行動できるよう指導していく。</p> <p>・毎月安全点検を行い、環境整備に努めた。チーム千鳥の多大な協力のおかげで体育倉庫や理科室、学級園の環境整備が行われた。</p> <p>・今年度矢口特別出張所が中心となって体験型の防災拠点訓練を行った。連絡会議で協議を重ね、非常時に備えたい。PTA役員の訓練参加に留まらず、安全教育につなげていきたい。</p> <p>・新聞を有効活用したり、読書学習司書による授業支援を充実させたり、「大きな木の会」による読み聞かせを行ったりして、読書の習慣化を図った。</p>	<p>A 6</p> <p>B 0</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<p>・チーム千鳥も気持ちよく活動させていたが、大切にしてください感謝している。</p>
<p>学地学個校域校別をコミ家標7リニ・まテ地域の核運と携して協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p> <p>④ホームページや学校だより・保護者会などを通して保護者や地域に教育活動の様子を伝えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>◆保護者アンケート「学校はお便りや学校ホームページ、学校公開等により、」教育活動の様子を伝える努力をしている</p> <p>「学校はチーム千鳥等の地域人材や施設を活用した教育活動に努めている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%</p>	<p>4: 全て90%以上</p> <p>3: 全て80%以上</p> <p>2: 全て70%以上</p> <p>1: 70%未満</p>	<p>4</p> <p>・地域行事にも積極的に教職員が参加し、地域での子どもたちの様子を知ることができ、地域や保護者とも関わる事ができた。ホームページで、学校だけでなく地域での様子も紹介できた。</p> <p>・正門改修工事に伴い、登下校のルートの一部変更した。見守り活動の登校時の誘導や保護者の付き添い等の協力のおかげで登下校時でのトラブルを未然に防止でき、事故なく登下校することができた。</p> <p>・運動会や学習発表会では、PTAの方に保護者誘導や会場整備を、2・6会方には受付前整列の協力をいただき、無事に運営できた。</p> <p>・まなびポケットでの配布物の配信が定着してきた。1月よりtetoruへ移行した。全保護者が確実に確認できているかチェックする必要がある。</p> <p>・ホームページで「今日の給食」のコーナーは家庭での会話の話題になると保護者から嬉しい反応があった。</p>	<p>A 5</p> <p>B 1</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<p>・チーム千鳥も気持ちよく活動させていたが、大切にしてください感謝している。</p>

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す